共通価値の創造

***MAGGI Naija Pot*：社会に影響を与えるシーズニングキューブ**

ナイジェリアのフラワーゲート工場で生産される「マギー」の新製品*Naija Pot*は、現地の味覚とシンプルで馴染みのある材料を好む現代の消費者の嗜好に応えつつ、栄養価を高め、食塩を低減したシーズニングキューブです。

共通価値の創造（CSV）は、ネスレの事業活動の根幹をなすものです。ネスレは、株主の皆さまと社会に価値を創造することが、企業としての長期的な成功につながると考えています。私たちの活動と製品は、ネスレの長期的な成功に寄与すると同時に、社会にプラスの変化をもたらすものでなければなりません。

ネスレCEOのU・マーク・シュナイダーとコートジボワール農村部のクアディオランゴクロ・ブリッジスクールの生徒たち。ジェイコブス財団との協力で建設されたブリッジスクールは、教育機会を提供し、児童労働防止を支援しています。

重要分野に注力

長期的な価値創造には注力分野が必要です。私たちは専門家に意見を求めながら、ネスレの事業が社会と最も深く交わる分野として、栄養、農村開発、水の3分野を優先することにしました。価値創造は、強固なコンプライアンスの基盤、敬意の文化、そして環境と社会の持続可能性に対して確固としたコミットメントがあってこそ可能です。ネスレが3つの注力分野に与える影響は、重要課題評価（11ページ参照）と外部団体からの定期的なフィードバックをもとに、公表したコミットメントに対する進捗により評価されます。

共通価値の創造のビジネスケース

株主の皆さまに長期的で持続可能な価値を最大限に創造するためには、株主以外のステークホルダーの皆さまにも価値を創造しなければなりません。ネスレは、コミュニティ、そしてウェルビーイング（心身ともに健康で幸せな状態）に悪い影響を与える事業は社会から支持されないと考えます。共通価値の創造は、ネスレと消費者が良い関係性を保つための助けとなります。

非財務的な価値創造とその報告を財務とより強く関連づけるために、ネスレはアーンスト&ヤング、バリューイング・ネイチャーと協力し、ネスレの「グローバルユース・イニシアチブ」（GYI）で創出される社会的価値と事業価値を算出する影響評価を実施しました。2017年に始まったGYIは、今後10年間に若者に経済的機会を1,000万件創出すると期待されています。今回の調査で、GYIはプラスの事業投資利益と、さらに高い社会的利益を創出することが明らかになりました。この調査結果と手法の詳細はウェブサイトで公開しています。この影響評価法はFSGによって評価され、他のプロジェクトへの応用を通じて継続的に改良されています。現在は、ネスレの「水を大切に使う」取り組みの影響評価を実施しています。

ネスレは、長期的な価値創造に関する対話の幅を広げることを目指す包摂的資本主義に向けた堤防プロジェクト（EPIC）の活動にも参加しています。

もっと詳しく知りたい方へ

ネスレの経営手法とガバナンス構造についての詳細、業績データ、事例研究やその他の情報については、ネスレのウェブサイトで公開している完全版の年次報告書『Nestlé in society – Creating Shared Value』と、同ウェブサイトのNestlé in societyのセクション（www.nestle.com/csv）（いずれも英文）をご覧ください。

ネスレは、生活の質を高め、さらに健康な未来づくりに貢献します

「生活の質を高め、さらに健康な未来づくりに貢献します」という存在意義に動機づけられたネスレの2030年に向けた長期的な目標は、国際連合の持続可能な開発のための2030アジェンダに合致しています。

ネスレは世界中の何十億人という人々の生活に関わっています。私たちはネスレ製品を楽しんでくださる個人や家族の皆さまから、私たちが暮らし働く、そして原材料を供給してくれるコミュニティ、さらに私たちすべてが依存する自然環境に至るまで、関わりを持っています。ネスレが影響を与える3つの重要分野を特定した上で、ネスレの最重要課題に照らして、長期的な目標の達成と、ひいては国際連合が掲げた2030年に向けた持続可能な開発目標（SDGs）の支援につながるコミットメントを設定しました。

個人と家族のために

さらに健康で幸せな生活を
実現します

2030年に向けた長期的な目標：5,000万人の子どもたちがさらに健康な生活を送れるよう支援します

さらにおいしく健康的な製品とサービスを提供する

●●○ 特に妊娠中や出産後の女性と乳児や子ども向けに、栄養のある食品飲料製品の発売を増やす

●●○ 糖類、食塩、飽和脂肪酸をさらに低減する

●●○ ネスレの食品飲料製品に含まれる野菜、食物繊維の豊富な穀類、豆類、種実類を増やす

●●○ ネスレの製品材料リストを簡潔にし、合成着色料を取り除く

●●○ 微量栄養素の強化を通じて、低栄養の問題に取り組む

さらに健康的な生活を奨励する

●●○ パッケージ、店頭とウェブサイトで栄養情報を表示し、説明する

●●○ ネスレ製品のポーション（1食分）ガイダンスを提供する

●●○ ネスレのマーケティング活動を利用して、健康に良い料理、食習慣、ライフスタイルを奨励する

●●○ 親や保護者、教員による子どもの健康的な行動育成を支援する

●●○ 母乳代替品の適正な販売に関する業界最高レベルの方針を継続的に実行することにより、母乳育児を支援する

●●○ さらに健康的な生活のために水を飲むように奨励する

●●○ 健康的な食環境を推進するための協力活動を行う

栄養知識を深め、共有、応用する

●●○ 初めの1,000日から健康的な加齢までの栄養に関する知識を深め、共有する

●●○ 健康を促進する製品、パーソナルニュートリション（個別化した栄養）、デジタルソリューションにつながる生物医科学を推進する

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

コミットメントの進捗状況

●○○ 新規
●●○ 進行中
●●● 達成済

コミュニティのために

困難に負けない活力ある
コミュニティを育成します

**2030年に向けた長期的な目標：ネスレの事業活動に直結する
コミュニティに暮らす3,000万人の生活向上**

農村開発と農村での生活を向上させる

●●○ ネスレのサプライヤーである農業従事者の経済状態を改善する

●●○ ネスレのサプライヤーである農業従事者の食料の入手可能性と食事の多様性を改善する

●●○ サプライチェーンにおける責任ある調達を実施し、動物福祉を推進する

●●○ ネスレのコーヒー生豆サプライチェーンを継続的に改善する

●●○ カカオ農家とともに「ネスレ カカオプラン」を実施する

人権を尊重し推進する

●●○ 事業活動全体における人権への影響を評価し対処する

●●○ ネスレの農業サプライチェーンにおいて労働者の生活を改善し、子どもを保護する

●●○ 組織全体で誠実な企業風土を醸成する

●●○ 社員とステークホルダーに実効性のある苦情処理の仕組みを提供する

公正な雇用と多様性を推進する

●●○ 事業全体において *Nestlé needs YOUth* イニシアチブを実施する

●●○ 社員の男女比バランスを改善し、バリューチェーン全体で女性の地位を向上させる

●●○ 健康的な職場と社員の健康増進を奨励する

地球のために

未来の世代のために
資源を守ります

**2030年に向けた長期的な目標：ネスレの事業活動における
環境負荷ゼロを目指す取り組み**

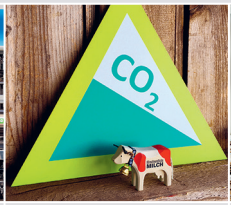
水を大切に使う

●●○ 事業全体における水の利用効率とサステナビリティの向上に取り組む

●●○ 効果的な水の利用方針と水の管理を推進する

●●○ サプライヤー、特に農業従事者と協力する

●●○ 水の保全意識を高め、バリューチェーン全体での水と公衆衛生へのアクセスを改善する



気候変動に対応する

●●○ 気候変動リーダーシップを発揮する

●●○ 気候政策における透明性と積極的かつ長期的な取り組みを推進する

環境を守る

●●○ ネスレ製品パッケージの環境パフォーマンスを改善する

●●○ 食品ロスと廃棄物を削減する

●●○ 有意義で正確な環境情報を提供し対話する

●●○ 自然資本を保全する

さらに健康で幸せな生活を実現します

消費者の食習慣は変わりつつあります。こうしたニーズの変化に合わせて、ネスレは製品をより自然で栄養のあるものに改善しています。また、親や保護者の皆さまを日々サポートするサービスも実施しています。原動力である*Nestlé for Healthier Kids*（「ネスレ ヘルシーキッズ」）はネスレの旗艦イニシアチブです。2030年までに5,000万人の子どもたちがさらに健康な生活を送れるよう支援します。

さらに健康な生活を奨励する

ネスレは消費者が意識を高め、さらに健康的なライフスタイルを取り入れられるように、各ブランドがさらに健康的なレシピ、わかりやすい栄養情報、ポーションガイダンス（1食分を知らせるさまざまな工夫）を提供します。

子どもの時にバランスのとれた栄養を摂ることは、生涯を通じた健康とウェルビーイングの礎となります。ネスレの旗艦イニシアチブである「ネスレ ヘルシーキッズ」は、胎児期から青年期の重要な時期に親や保護者を啓発し、支援することを目指します。

数字でわかる

1 **2,900万人** 「ネスレ ヘルシーキッズ」に参加した子どもの数

2 **1,300種類以上** 乳児、子ども、妊娠中や出産後の女性向けの栄養のある新製品

3 **17億スイスフラン** 研究開発への投資額

「ネスクイック」

ネスレの象徴的なブランドに、糖類を低減した製品を揃え、健康的な選択をしやすくします。

Sweet Earth

準菜食主義者、ベジタリアン向けの植物性の調理済み食品では、栄養、味、便利さを損なうことなく健康的な食事をサポートします。

さらにおいしく健康的な製品とサービスを提供する

栄養不良には、低栄養、肥満や過体重、微量栄養素欠乏症など多くの状態があります。栄養不良の改善は、依然として世界最大の健康課題の一つです。

ネスレは特に子どもに目を向け、栄養価の高い食品飲料製品の発売、野菜や全粒穀物の含有量を増やすこと、原材料リストを簡潔にし、合成着色料を取り除くことに取り組んでいます。

また、必要に応じて製品の栄養を強化し、また糖類、食塩、飽和脂肪酸を低減します。

栄養知識を深め、共有、応用する

ネスレの科学者や研究者は、栄養のさまざまな側面が人生のあらゆる段階で私たちにどのような影響を与えるかを解明しようと取り組んでいます。例えば、乳児と子どもの食習慣に関する調査では、約5万5,000人の乳幼児と学齢期の児童の食事摂取に関する情報を分析し、ネスレの製品やサービスの改善に役立てています。こうした知見は医学界や栄養界にも共有され、世界規模のさまざまな健康課題への対応に活用されています。

Vitaflo

ネスレの最先端研究は、食品と関連する症状を持つ患者の支援に役立っています。

困難に負けない活力ある
コミュニティを育成します

ネスレは、従業員の地位向上、農村開発の支援、責任ある調達の確保、そして人権を推進し、安定した長期的なバリューチェーンの一端として困難に負けない活力あるコミュニティを育成することを目指します。「ネスプレッソ AAAサステイナブル・クオリティ(持続可能性品質)™プログラム」「ネスカフェ プラン」「ネスレ カカオプラン」「ファーマーコネクト」などのイニシアチブは、世界中の何千ものサプライヤーや農業従事者の耐性力を高める上で役立っています。

農村開発と農村での生活を向上させる

ネスレは、農業従事者が直面する課題を理解することにより、生産性と収入の向上、農業の魅力の向上、長期的な供給確保を目指します。

ネスレの児童労働モニタリングと改善要請システム(CLMRS)は、コートジボワールやガーナといったカカオ供給国で拡大を続けており、これまでに11,130人の子どもたちを支援しました。

2018年には、コーヒー栽培者の感動的な実体験を伝えることで「ネスカフェ プラン」の活動を伝える*Grown Respectfully*の取り組みを始めました。

「ネスカフェ」

*Grown Respectfully*は、農業従事者が良質なコーヒーを持続的に栽培できるように支援するため、「ネスカフェ」が80年以上にわたり取り組んできた活動を活性化する取り組みです。

数字でわかる

1 **63%** 14の主要カテゴリーの原材料のうち、責任ある調達の実施割合

2 **43.2%** ネスレの管理職で女性が占める割合

3 **40万人以上** *Nestlé needs YOUth*に参加した若者の数

人権を尊重し推進する

ネスレはあらゆる活動において、人権の尊重と推進に取り組んでいます。専門家と協力してリスクを特定し、行動計画を実施します。

各国の経営レベルでも人権尊重をさらに推進します。これは、人権に関するリスクと機会を管理するガバナンス体制に向けた重要な一歩です。

また、最新の研修ツールを導入し、ネスレの全社員に人権に関する研修を行うという目標の達成につなげます。

「キットカット」

ネスレは、持続可能なカカオ栽培の支援に取り組んでいます。また、倫理的広告プラットフォームGood-Loopと協力し、視聴者が「キットカット」ブランドの広告媒体費の一部を「ネスレ カカオプラン」に寄付できるようにしました。

公正な雇用と多様性を推進する

公正な雇用、ダイバーシティ(多様性)、インクルージョン(受容)の確保は、ネスレの企業風土の重要な側面です。2018年、同一労働同一賃金の実現に向けた取り組みを加速することを公約しました。新たなマタニティー保護方針をすべての市場に導入しました。また、LGBTI(性的マイノリティ)に対する差別解消に取り組む国連の企業行動基準の順守を公約しました。さらに、研修とコミュニケーションで、社内にある偏見と無意識の偏見の解消に取り組みました。

「ネスプレッソ」

小規模コーヒー農家における女性の役割は、現地コミュニティとコーヒー栽培業の持続可能な開発にとって非常に重要です。「ネスプレッソ」がコーヒー調達地域における男女平等を重視しているのは、これが理由です。

未来の世代のために
資源を守ります

ネスレは、事業活動に必要な資源を持続可能的に供給するため、森林、土壌、海洋、気候に依存しています。ネスレは、さらに効率的に業務を行い、気候変動に対応し、食品ロスと廃棄物を削減し、水を大切に使うことにより、資源を持続可能的に使用し、管理するためのコミットメントと目標を設定しました。長期的な目標は、ネスレの事業活動における環境負荷ゼロを目指すことです。

水を大切に使う

水を大切に使うことは、事業活動における環境負荷ゼロというネスレの長期的目標を達成する上で重要です。ネスレは引き続き、製品1トンあたりの取水量の削減と水の再利用に取り組みます。また、アライアンス・フォー・ウォーター・スチュワードシップ（AWS）などの外部機関と協力し、ウォーター・スチュワードシップ（水の管理）のイニシアチブと、すべての人の基本的な権利である安全な水、公衆衛生と衛生施設を利用する機会の拡大に取り組みます。

数字でわかる

1 **18カ所** 取水量ゼロを達成した工場数

2 **38.2%** 製品1トンあたりの温室効果ガス排出量を2008年と比較して削減した割合

3 **11万8,710トン** 2015年と比較して削減したパッケージの量

Nido

ネスレの乳製品加工工場では、牛乳の濃縮工程で回収した水を再利用することで、取水量ゼロ施設となることを目指しています。

気候変動に対応する

気候変動は、食品飲料産業の一員であるネスレに影響を及ぼします。天候の変化は、作物収穫量と農業従事者の生活に影響を与えます。ネスレは、農業従事者の気候変動に対する耐性力の強化支援、またバリューチェーン全体で科学に基づく目標値に沿って温室効果ガス(GHG)排出量を削減することで、ネスレが気候に与える影響を低減します。

Extrafino

ネスレは各地の酪農家と密接に協力して新鮮な牛乳を集め、エネルギー効率の高いプロジェクトを支援します。

環境を守る

ネスレは全社をあげて、事業所での廃棄物ゼロに向け、リデュース(削減)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用)に取り組みます。ネスレ製品のパッケージを一切埋立処分や陸地や海洋に廃棄させたくありません。

2018年には、機能性、安全性、そして環境負荷の少ないパッケージソリューションの発見と開発に専門的に取り組むネスレ パッケージング研究所(Nestlé Institute of Packaging Sciences)の設立を発表しました。この研究所の設立は、2025年までにネスレのパッケージの100%をリサイクル可能あるいはリユース可能にするという長期的な目標に向けた一歩です。

ネスレが使用する原材料は、健全な森林、土壌、海に依存しています。ネスレは、事業を成長させながら環境パフォーマンスを改善することを目指します。農業従事者と協力して土壌の管理と過剰な土壌流出の防止にあたるほか、プラスチック流出を防ぐ廃棄物インフラへの投資、グローバル・ゴースト・ギア・イニシアチブ(GGGI)などの世界規模の取り組みの支援に取り組みます。

Pure Life

*Nestlé Pure Life*のボトルは再生可能プラスチック製です。2025年までにすべてのパッケージをリサイクル可能あるいはリユース可能にするという、パッケージに関するグローバルの長期的な目標の一例です。

ステークホルダーとの関わりと重要課題マッピング

重要な課題について外部の関心を集めることは、ネスレの事業強化につながります。ネスレは専門家、支援者、批評家から助言を求め、企業方針とコミットメントの策定、戦略の検討、投資の優先づけにあたっています。

ネスレのステークホルダーは、投資家、国際機関、各国政府、非政府機関(NGO)、学界、現地コミュニティ、サプライヤー、消費者、取引先企業などです。

ネスレは、独立した第三者機関による正式な重要課題評価を2年ごとに実施しています。この評価をもとに、ネスレの事業とステークホルダーにとって最も重要な課題を特定します。

ステークホルダー会議やその他の関連イベントは、さらなる対話の機会となります。2018年3月、ブラジルの首都ブラジリアで、第8回世界水フォーラムの開催に合わせて、共通価値の創造フォーラムを開催、ネスレ会長のポール・ブルケとCEOのU・マーク・シュナイダーが出席しました。2018年は投資家向けアウトリーチ活動の一環として、23都市の660社、1,148人の投資家に会いました。

「持続可能な開発目標の推進力としての水」をテーマとして、ブラジリア(ブラジル)で開催された2018年共通価値の創造フォーラムで講演するネスレ会長のポール・ブルケ。

主要指標のパフォーマンス

ネスレは賞や評価に動かされはしませんが、私たちのサステナビリティ活動と実績が世界を代表する格付機関や評価機関に認められていることを誇りに思っています。

FTSE4Good	**FTSE4Good**(フィッチフォーグッド)の**責任投資指標**に2011年以降連続で登録。
ACCESS TO NUTRITION INDEX™	2018年の栄養への**アクセス指標(ATNI)**において、世界的な食品飲料メーカー22社のうち第1位。
MEMBER OF Dow Jones Sustainability Indices In Collaboration with RobecoSAM	2018年の**ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)**で健康栄養パフォーマンスで100点、環境社会分野におけるリーダーと評価を受け、食品産業部門で第2位。
CDP DRIVING SUSTAINABLE ECONOMIES	**CDPの気候変動Aリスト**における地位を維持。

2018年ネスレ重要課題マトリックス

ステークホルダーに対する重要度	中程度	重大	きわめて重大
きわめて重大		天然資源と水の管理 気候変動	サプライチェーン管理 過剰栄養と低栄養
重大	女性の権利向上 コミュニティとの関係	農村開発と貧困緩和 人権 ビジネス倫理 責任あるマーケティングと影響力 製品の品質 食料と栄養の確保 資源利用の効率化、(食品)廃棄、サーキュラーエコノミー サプライチェーンにおける土地管理	食の安全、製品の安全 消費者の人口動態と消費傾向 製品パッケージとプラスチック
中程度	動物福祉 社員の安全、健康とウェルネス 公正な雇用と機会の平等	製品法規と課税 地政学的不確実性 責任ある技術利用 データプライバシーとサイバーセキュリティ	

ネスレの成功に対する影響

個人と家族のために

- 過剰栄養と低栄養
- 責任あるマーケティングと影響力
- 製品の品質
- 食の安全、製品の安全
- 消費者の人口動態と消費傾向
- 食料と栄養の確保
- データプライバシーとサイバーセキュリティ

コミュニティのために

- サプライチェーン管理
- 女性の権利向上
- 製品規制と課税
- 人権
- 動物福祉
- ビジネス倫理
- 社員の安全、健康とウェルネス
- 地政学的不確実性
- 公正な雇用と機会の平等
- 自然災害
- 責任ある技術利用
- コミュニティとの関係
- 農村開発と貧困緩和

地球のために

- 天然資源と水の管理
- 資源利用の効率化、(食品)廃棄、サーキュラーエコノミー
- サプライチェーンにおける土地管理
- 気候変動
- 製品パッケージとプラスチック